

しんかんフエスタで 仲間が増えた!



新採用者・講師歓迎行事、しんかんフエスタが4月18日開かれ、約90人が参加。絵本作家武田美穂さんの絵本読み聞かせ・講演に感動が広がりました。参加者も「がんこちゃん」を書きました。レセプションパーティ・交流会の中で組合員が増えました(以下、参加者の声)。



○たくさんのお話を聞かせてあげたいと強く思いました(新採用)。
○1年目でホントに何も分らない状態教師をしていますが、子ども達にとっては先生という話を聞いて、少し、自信を持つことができました。また、「ガンこちゃん」の書き方を伝えていこうと思えました(新採用)。
○がんこちゃん、となりの席のますだくんがすごく好きで、今日は色んな絵本を読んでもらったり、がんこちゃんの書き方を教えてもらった



りしてすごく楽しい時間でした。絵本というのには本当に大人になってからも心に響くものなので、今新学期になってバタバタしていますが、毎日1日1冊は子ども達に読み聞かせてあげたいと思います。今回は本当にためになり楽しい時間でした(講師)。
○今日はたくさんのお話をありがとうございました。うございしました。「となりの席のますだくん」は小学校の時に読み、かじじゅうだったますだ君は人間だったのか!と最後にびっくりしたのでよく覚えてます。先生のお話もたのしく、読み聞かせの本を私も読んであげたいなと思えます。
○やっぱり誰かに絵本を読み聞かせてもらうっていいなと思いました。となりの席のますだくんは自分が子どもの頃から読んでいたので今日

お話が聞けてとてもうれしかったです(6年目)。
○子ども達のために世界を紡いでいきたい」ということばにとっても共感しました。また、「くだらない」「ナンセンスな」本、私も大好きです。読み聞かせも声の調子がとても心地よくステキでした。これからも作品を楽しみにしています。

戦争法制づくりを許さない

憲法記念日のついで 九条の会



安倍首相とオバマ大統領は4月28日、首脳会談を行い共同声明で、新「日米防衛協力のための指針」(ガイドライン)が、「同盟を革新」し、「日本が地域およびグローバルな安全への貢献を拡大する」と強調しました。
新「ガイドライン」は、集団的自衛権の低い生徒を休ませるといった不正が起きかねないという懸念「そもそもペーパーテストで測れるのは学力の一部にしか過ぎません」と解説しました。
大教組は、「中学校3年生の評定基準にかかわる府教委決定に反対し、撤回を求める署名」を提出します。職場での早急の取り組みを呼びかけます。

付朝日世論調査で憲法を「変える必要がない」が48%で、「必要がある」43%を上回ったことを指摘。「改憲の是非を聞いた97年の調査以降は賛成が反対を上回っていたが、安倍政権が憲法解釈を変えて集団的自衛権を使えるようにする議論を進めていた昨年の調査から再び逆転していた。」朝日
元防衛庁運営局長、内閣官房副長官補(04年~09年)の柳澤協二さんは、ガイドラインで約束したことを出来るようにするのが安保法制、安倍首相が「ふつうの国に「自立」するために、対米従属をさらに深める姿

先輩のワザ伝授 連続講座

第3回 ダンス講習会
日時 5月10日(日) 13時30分
会場 アネックスパル法円坂

第4回 絵本講座
日時 6月12日(金) 18時30分
会場 難波市民学習センター
OCA Tビル4F

第5回 7月25日(土)

教採合格突破講座

第2回 合格するエントリーシート
日時 6月6日(土) 14時~17時

第3回 直前個人面接演習
日時 6月27日(土) 14時~17時
会場 アネックスパル法円坂

教員採用選考勉強会

①5月23日(土) 13:30 教職教養
②6月6日(土) 13:30 面接対策
③6月20日(土) 13:30 面接対策
会場 ①大阪府社会福祉会館(谷六)
②③大阪府教育会館(上六・谷九)
※「申し込みはがき」で事前申し込み必要

中3生「内申書革命」急ぎすぎ 全国学力テスト結果で序列化

中学3年生が朝日新聞に投書しました(4月26日)。「なぜこんなに急に制度を変えるのですか。どうなるか分からないというだけで不安です。これだけ私たちが振り回しておいて『内申書革命だ』って、どういことですか。一生を決める大切な受験です。教育委員会の方々も受験生の気持ちを一番に考えてください。」ある学習塾のピラは「今年度から高校入試が大きく変わります。今までは中学3年生の成績のみが内申点の対象でしたが、今後は中学1年生、2年生の成績も含まれていきます」と書き込みました。中学生が振り回され、塾産業が競争をとおっています。全国学力テストや

大阪府統一テストの結果を高校入試に活用するとし、テスト結果で生徒を序列化し、中学校教育を混乱させている府・市教委の責任は重大です。
「全国学力調査」趣旨を逸脱するな(朝日)、「内申点」利用は筋違い(北海道)、「目的からの逸脱が目立つ」(信濃毎日)と各紙が指摘し、NHKも「成績の低い生徒を休ませるといった不正が起きかねないという懸念」(そもそもペーパーテストで測れるのは学力の一部にしか過ぎません」と解説しました。
大教組は、「中学校3年生の評定基準にかかわる府教委決定に反対し、撤回を求める署名」を提出します。職場での早急の取り組みを呼びかけます。



2016年度採用教採合格突破講座①を4月25日開催し、35人の受講者で会場は熱気にあふれました。
第1講は合格体験談。昨年度の受講者だった2人の「先輩」が採用試験勉強、エントリーシートの内容、個人面接の練習など、細かなアドバイスと激励をこめた体験談を話しました。
第2講は、スタッフの中路さんが受験案内を解説し、大阪市の求める教師像について話しました(写真)。第3講は個人面接体験と経験交流。本番さながらの面接体験に、受講者は緊張しながら挑みました。「他の講座では聞けない内容も教えていただき、勉強になりました」一実際に面接をして、足りない部分や課題がはっきりして良かったです。などの感想が寄せられ、次回の参加申し込みをする人も多数となりました。
受講をきっかけに7人が組合加入し充実の講座となりました。

教採合格突破講座① 合格体験談、面接体験も

調査から再び逆転していた。」朝日
元防衛庁運営局長、内閣官房副長官補(04年~09年)の柳澤協二さんは、ガイドラインで約束したことを出来るようにするのが安保法制、安倍首相が「ふつうの国に「自立」するために、対米従属をさらに深める姿